

観光文化スポーツ部 平成 28 年度の主な取組

【現状】

- ◆ 本県の延べ宿泊者数は、東日本大震災前の水準に回復していない。
- ◆ 外国人延べ宿泊者数は増加しているものの、ゴールデンルートとの差は依然として大きい。
- ◆ 県産品の販売も震災前より落ち込んでおり、東北最下位から脱していない。
- ◎ 台湾やタイにおける本県の認知度の高まり、文化の力で地域の元気を創造する気運の醸成、食の輸出やスポーツ合宿誘致に向けたネットワークの構築など、これからの交流人口拡大や県産品販路拡大を進めるうえでの基盤が整いつつある。

- 延べ宿泊者数
〔平成 26 年：3,761 千人泊（平成 22 年比 87%）〕
- 外国人延べ宿泊者数
〔平成 26 年：41,510 人泊（3 カ年平均伸び率 16%）〕
- 食料品・飲料等製造品出荷額
〔平成 26 年：1,170 億円（平成 22 年比 89%）〕

【目指す方向性】

- 平成 31 年度までに、台湾との国際定期便開設やタイからの延べ宿泊者数 5,000 人超を達成することを目指し、台湾・タイなどを対象としたインバウンド対策及び受入態勢の整備を集中的に実施する。
- 観光・文化・スポーツが一体となった誘客及び交通ネットワークの維持・拡充による交流人口の拡大と、国内外への「食」の売り込みを、相互に連携して推進する。

【第 2 期元気創造プラン 戦略 3 「未来の交流を創り、支える観光・交通戦略」】

＜主な取組＞

施策 1 ビジネスとして継続・成長していく総合戦略産業としての観光の推進

- ① お客様目線を重視したビジネスとして継続・成長していく観光産業の形成
- ② お客様と秋田への観光を結び付けるネットワークづくり
- ③ 多様な分野との連携
- ④ 県を挙げた取組態勢の再構築

海外や首都圏等からの誘客促進と『みんなにやさしい観光あきたづくり』の推進

- ◎ 秋田の観光創生インバウンド対策強化事業【地方創生加速化交付金】
・台湾やタイへの集中的なプロモーション、台湾チャーター便への支援等
- ◎ 「やさしさ日本」受入態勢整備事業【地方創生加速化交付金】
・「あきた旅のサポートセンター」への英語コンシェルジュの配置等
- ◎ 二次アクセス整備促進事業【地方創生加速化交付金】
・主要交通ターミナルを起点とした二次アクセス整備と情報発信への支援
- 民間観光宿泊施設魅力向上支援事業
・旅行者の多様なニーズ等に対応した民間事業者の施設改修等への支援
- ◎ 新たな観光客開拓推進事業
・スマホゲームなど新たな手法やツールを活用した新たな客層の開拓等
- 観光施設魅力向上事業
・県営観光施設の緊急改修と、秋田ふるさと村の魅力発信

- あきたびじょんブランド化推進事業
・WEB マガジンによる魅力発信や新たな秋田の楽しみ方の提案
- 地域の集客力アップ事業
・県内で開催される大規模イベントへの支援
- 海外誘客推進事業
・台湾チャーター便等の利用促進と台湾・韓国へのコーディネーター配置
- 観光連盟強化支援事業
・秋田県観光連盟が行う誘客宣伝活動や受入態勢強化等の取組への支援
- 秋田の観光宣伝力強化事業
・JR 東日本の重販指定と連動した首都圏での観光キャンペーン等の実施
- ◎ 「日ASEAN 次官級交通政策会合」開催支援事業
・参加各国のマスコミ招へいと、歓迎レセプション等の実施等

施策 2 秋田の食の魅力の磨き上げと県外への販路拡大

- ① 県外市場にチャレンジする食品事業者群の育成
- ② 市場ニーズを先取りした秋田オリジナルな商品開発
- ③ ターゲットや地域を明確にした戦略的プロモーション

高品質な県産品の造成と海外や首都圏等での販路拡大

- ◎ クールアキタ食の輸出拡大支援事業【地方創生加速化交付金】
・台湾、シンガポール、パリなどをターゲットとした、海外に拠点を持つ民間事業者との連携などによる、新たな食や文化の海外展開
- アンテナショップ運営事業
・県産品の売り込みと試飲・試食会等による情報受発信の強化
- 県産品販路拡大対策事業
・首都圏などでの商談会や販売力・商品力を強化するセミナー等の開催

- ◎ 高品質販路開拓事業
・百貨店と連携した高質な商品開発と多様な流通チャネルによる販路開拓
- ◎ 大消費地販路開拓事業
・関西のスーパーでのプロモーションや、九州での試食試飲会の実施
- 食の自治体連携売り込み事業
・鳥取県や茨城県との連携による食のプロモーションイベントの実施
- 総合食品研究センターによる研究開発と技術支援

施策 3 秋田の文化力の更なる向上による地域の元気創出

- ① 県民参加による国民文化祭の実施
- ② 文化による交流人口の拡大
- ③ 文化の継承と創造
- ④ 文化活動の拡充とにぎわい創出を図る新たな文化施設の整備の推進

市町村や文化団体との協働による地域文化の発信と県・市連携文化施設の整備の推進

- 文化による地域の元気創出事業
・本県の伝統芸能が一堂に会する「新・秋田の行事」（大館市）、「国際花火シンポジウム大会」（大仙市）、池田修三展を核とした「にかほ市プロジェクト」の実施
- ・「石井漢、土方巽記念国際舞踊・舞踏フェスティバル」やミュージカル「新『リキノスケ走る！』」公演の開催
- ・アートと音楽の力で地域活性化を図るあきたアートプロジェクトの実施

- 文化の継承・創造推進事業
・文化芸術活動を発表する機会の充実及び活動活発化の促進と、優れた作品や活動への顕彰
- 文化施設整備推進事業
・県・市連携文化施設について、候補地の現況測量を行ったうえで、具体の施設機能や施設配置案などを明らかにする整備計画の策定
- 総合生活文化会館の管理運営とリニューアル

施策 4 「スポーツ立県あきた」の推進

- ① 全国や世界のひのき舞台で活躍できる選手の育成と強化
- ② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ③ スポーツを活用した地域の活性化
- ④ 住民が主体的に参画できる地域のスポーツ環境の整備

「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大

- スポーツ王国創成事業
・競技団体の選手強化対策への支援と、ジュニア期からの一貫指導体制の確立
- 体育大会派遣費
・東北総合体育大会や国民体育大会のほか、国際大会への選手派遣
- ◎ 生涯を通じた豊かなスポーツライフづくりの推進
・中高齢者向け運動プログラム「円熟体操」の普及や、スポーツ少年団活動を活性化する取組の実施

- 秋田のトップスポーツチーム応援事業
・トップスポーツチームへの応援を通じた本県の情報発信と、秋田ノーザンハピネッツ新リーグ参入に伴うホームアリーナ整備への支援
- 2020 プロジェクト推進事業
・2020 東京オリンピック等を見据えた事前合宿の本県への招致
- ◎ 日本スポーツマスターズ 2016 秋田大会開催事業
・主会期：9 月 23 日～27 日
・サッカー、バレーボール等 13 競技を 6 市 2 町で実施

施策 5 交通ネットワークの利便性向上と地域交通の確保

- ① 交通機関の利便性向上と航空ネットワーク機能の強化
- ② 第三セクター鉄道等の持続的運行の確保と活用促進
- ③ 生活バス路線など地域の実情に合った交通手段の確保

交流人口の拡大に向けた広域交通の充実と地域公共交通の維持・利用促進

- 広域交通ネットワーク維持・誘客促進事業
・秋田空港及び大館能代空港航空路線やフェリー秋田航路などの利用促進
- ◎ 奥羽・羽越新幹線整備促進事業
・機運醸成を図るための研究会等の開催や、広報・要望活動の実施
・整備促進に向けた活動を推進するための体制の整備
- 地方バス路線維持事業、生活バス路線等維持事業
・広域・幹線的な生活交通バス路線の運行経費等への国と協調した助成
・地域内の生活バス路線やコミュニティバス等の運行経費等への助成

- 鉄道軌道輸送対策事業、第三セクター鉄道設備整備事業
・秋田内陸線、鳥海山ろく線及び秋田臨海鉄道の安全対策に係る施設改修への国と協調した助成
・秋田内陸線の橋梁の修繕や補強への助成
- 地方鉄道運営費補助事業
・秋田内陸縦貫鉄道(株)及び由利高原鉄道(株)の運営経費の一部への助成
- ◎ 新たな地域公共交通推進モデル事業
・地域公共交通の潜在的な需要を掘り起こす民間団体等の取組等への支援